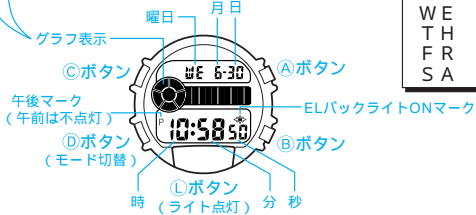


## 操作のしくみと表示の見方

③ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

### 時刻・カレンダーモード

グラフ表示はいつでも現在時刻に連動して点灯 / 不点灯をくりかえします



### < 曜日の見方 >

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

### EL バックライト ON/OFF 切り替え

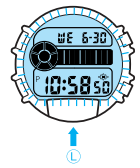
③ ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けるごとに確認音が鳴り、EL バックライトの ON (点灯) / OFF が切り替わります。

「EL バックライトの自動発光」参照

### 表示照明用 EL バックライトについて

どのモードのときでも、① ボタンを 1 回押すと文字板が約 2 秒間発光します。

発光しているときにもう一度① ボタンを押すと、その時点から引き続き約 2 秒間発光します。ライト OFF (不点灯) でも① ボタンを押すと発光します。



### EL バックライトの自動発光

ライト ON (点灯) のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

電子音報音 (発光) のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

### < EL バックライトの発光に関するご注意 >

直射日光下では、発光が見えにくくなります。

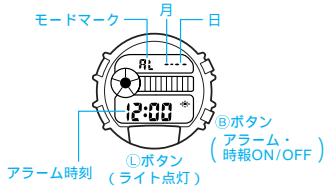
電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。

発光中に時計本体より音が聞こえますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

各機能 (ライト点灯は除く) を使用した後に ③ ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

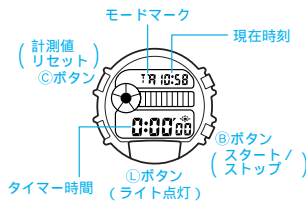
### アラームモード

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。



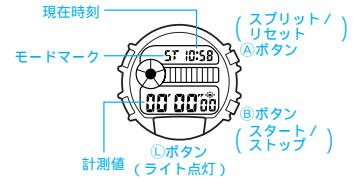
### タイマーモード

1 秒単位で、最大 24 時間までの減算計測ができます。



### ストップウォッチモード

1/100 秒単位 (1 時間を超えると 1 秒単位) で 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測できます。



## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

### 秒の合わせ方... 30 秒以内の遅れ / 進みの修正

月に 1 度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

③ ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。

< 時刻・カレンダーモード >



(2) 時報に合わせて、② ボタンを押します

→ 秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分くりあがって、「00」秒になります。

時報は「時報サービス電話 117 番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、

③ ボタンを押して点滅を止めます



秒 (時刻・カレンダー) セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2 ~ 3 分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

### 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

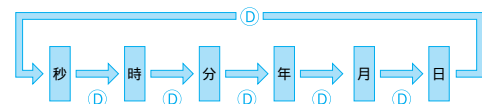
③ ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動します。

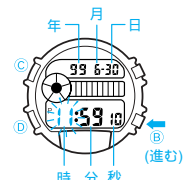
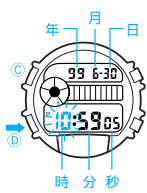


(3) 点滅箇所のセット

② ボタンを押します

→ ② ボタンを押すごとに、点滅している数字が 1 つずつ進みます。押し続けると早く進みます。

< 時刻・カレンダーモード >



### 12/24 時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、① ボタンを押すごとに 12 時間制表示 (午前 / 午後 "P") と 24 時間制表示 (24) とが切り替わります。

上記 (2) ~ (3) の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

「時」のセットのとき午前 / 午後 (P)、24 時間制にご注意ください。

「年」は 1995 ~ 2039 年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、③ ボタンを押して点滅を止めます

## アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに**ⓐ** ボタンを1回押すと、アラームモードになります。アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

### アラーム・時報を鳴らすには

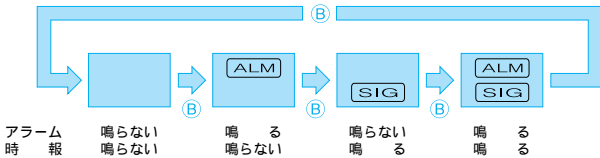
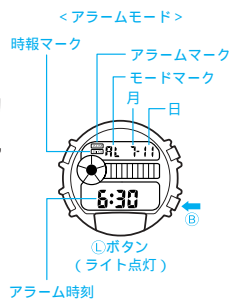
アラームモードのときに、

**ⓐ** ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに以下の順でアラームON / OFFおよび時報ON / OFFが切り替わります。

なお、アラーム時刻をセットすると“ALM”が点灯し、自動的にアラームONとなります。

(「アラーム時刻のセット」参照)



### アラーム・時報の報知方法

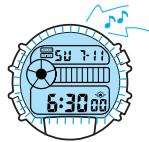
アラーム ON のとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

時報 ON のとき

毎正時(00分)になると、“ビピッ”と電子音が鳴ります。

<時刻・カレンダーモード>



このとき、いずれの場合でも、ELバックライトON(点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

### 鳴っている電子音を止めるには

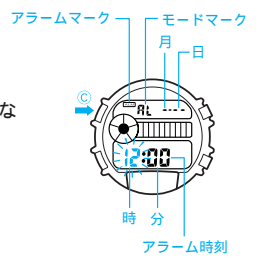
アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**ⓐ****ⓑ****ⓒ****ⓓ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

### アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

**ⓑ** ボタンを押します

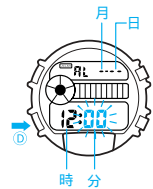
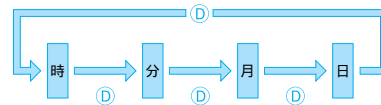
→ アラーム時刻の「時」が点滅します。このとき“ALM”が点灯し、アラームONとなります。



(2) セット箇所を選ぶ

**ⓐ** ボタンを押します

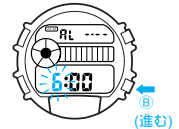
→ **ⓐ** ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

**ⓑ** ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



「時」のセットのとき、午前/午後“P”にご注意ください。基本時刻を24時間制“24”にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- 毎日鳴らしたいとき → 「時・分」のみセット
- 1ヵ月間毎日鳴らしたいとき → 「月・時・分」のみセット
- 毎月同じ日に鳴らしたいとき → 「日・時・分」のみセット
- 指定月日に鳴らしたいとき → 「月・日・時・分」すべてセット

(4) セット後、点滅を止めるには、

**ⓒ** ボタンを押します

セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

## ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに**ⓐ** ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

### 計測のしかた

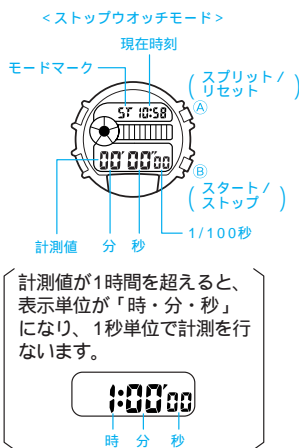
ストップウォッチモードのときに、

**ⓑ** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

計測中に**ⓐ** ボタンを押すと、スプリット計測となります。“SP”点灯)もう一度**ⓐ** ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

計測終了後**ⓐ** ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

**ⓑ**・**ⓐ** ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないます。



### 通常計測

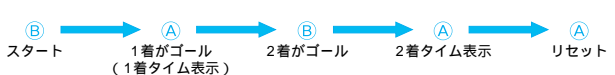


積算計測...ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(**ⓑ** ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### スプリットタイム(途中経過時間)の計測



### 1・2着同時計測



**タイマーの使い方** 時刻・カレンダーモードのときに**ⓐ**ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

## タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

**ⓐ**ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

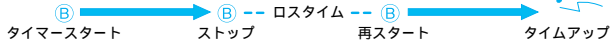
→ 減算計測は1秒単位で行ないます。

**ⓑ**ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



### ロスタイムがあるときは

減算計測中、**ⓐ**ボタンでストップ後、もう一度**ⓐ**ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

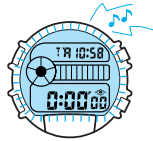


## タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間\*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

\* オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

このとき、ELバックライトON(点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



## タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

### リピートタイマー(繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

オートリピートタイマー(自動繰り返し計測) "AUTO" 点灯 タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

### タイマー方法の選び方

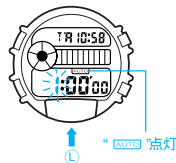
タイマー時間セットのときに、

**ⓓ**ボタンを押します

→ **ⓓ**ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯/不点灯を繰り返します。

"AUTO" が不点灯のときはリピートタイマー、"AUTO" が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。

<オートリピートタイマー>



## 鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、全てのモードのときに**ⓐ****ⓑ****ⓒ****ⓓ****ⓔ**ボタンのうち、いずれか1つを押します。

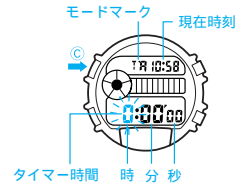
## タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒(0:00'01)」から「24時間(0:00'00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

**ⓑ**ボタンを押します

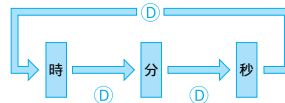
→ タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

**ⓓ**ボタンを押します

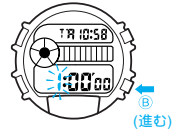
→ **ⓓ**ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

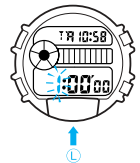
**ⓑ**ボタンを押します

→ **ⓑ**ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



表示が点滅しているときに**ⓔ**ボタンを押すと、タイマー方法(リピートタイマー/オートリピートタイマー)が選べます。(詳しくは左記「タイマー方法を選ぶ」参照)

<リピートタイマー>



(4) セット後、点滅を止めるには

**ⓑ**ボタンを押します

セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。